

目標達成計画

作成日: 令和 元年 7月 24日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	○	職員各々が評価する作業にかかわる時間が短く、意識も希薄に感じられる。運営推進会議を通じて自己評価やミーティング、目標設定の機会を多くとることで意識付けが必要。	各利用者の援助計画に沿った介護の提供を目指す 職員は個人の件所計画を把握しておく その時の体調の変化に適した援助計画の作成とその実施	モニタリング・アセスメントの後、本人・家族・かかりつけ医・薬剤師・管理者・ケアマネ・担当職員等の意見が反映された援助計画が作成できるように行程を見直す。	12ヶ月
2		地域のイベントに参加する計画だったがお祭りに参加できたのみで不十分な内容となった。	地域の方にとってグループホームの活動内容を理解していただくために交流を盛んにを行い疑問点の解消に努める。	地域行事への参加を増やす(年2回以上) 地域の方の見学やボランティアの受け入れを積極的に行う。	12ヶ月
3		設備や設計に変更すべき点があるが、一方で職員各々が意識してより快適な環境で利用者に過ごしていただくにはどうしたらいいのかを考えることが必要。	利用者にとっての快適な居心地の良い環境づくり 安全に配慮しながら開放的な雰囲気、明るい生活感のある場所を目指す。	施錠している場所を減らせるところがないか検討する。	3ヶ月
4		運営推進会議で来所いただいた機会を利用して地域の方に実際の生活の場により近いところを見ていただき活動内容をよりしっていただく。	運営推進会議を事業所の現在の状態を知っていただくだけでなく、介護保険や身体拘束、認知症等について理解を深めていただく機会に活用する。	地域を代表する方に実際にグループホームに入ってもらって生活の様子を知っていただけるように情報発信をする。 地域の方に介護保険・グループホーム・身体拘束について運営推進会議の時間を通じて講習会や相談会を実施する。	12ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。